

みんなで作った!

# # ぞしよの推しマップ vol.2

博物館編

2022年8月11日～10月23日の期間、御所野縄文公園・御所野縄文博物館の好きなところ、お気に入りなところ(=「推し」なところ)をSNSで募集しました。皆さんから投稿いただいた写真とコメントをまとめてひとつの地図を作りました。投稿いただいたコメントの前には「吹き出しマーク」を付けています。その他の赤い文字などは博物館スタッフからのコメントです。ぜひ写真の場所を見つげながら歩いてみてください。

郷土資料コーナーも見てみよう!

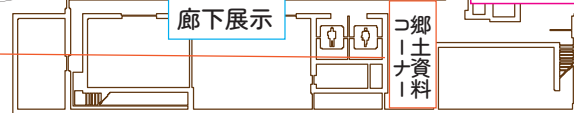
博物館2階には一戸町の郷土資料を展示しています。一戸町の絵馬や、漆の実から作っていたロウソク「漆蠟(うるしろ)」に関する資料も多数展示しています。



一戸町の絵馬

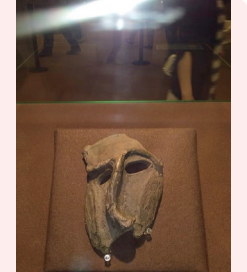
博物館2階のミュージアムショップは2022年4月にリニューアル。ショップで商品を購入された方は御所野オリジナルのスタンプをつけて自分だけの袋を作ることができます。ぜひお試しください!

お土産を買ったら自分で袋にスタンプを押してオリジナルの袋が作れて楽しかった～

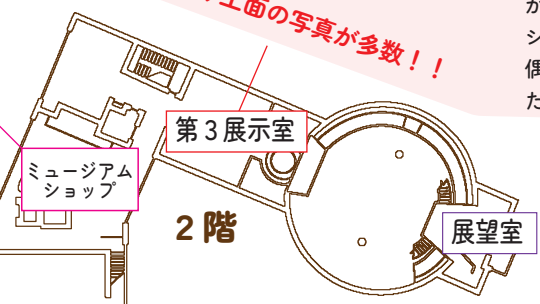


鼻曲り土面の写真が多数!!

第3展示室には一戸町の時前遺跡や山井遺跡からの出土品を展示しています。御所野遺跡よりも現代に近い時代のものになり、第1・2展示室の展示物と見比べてみると面白いと思います!



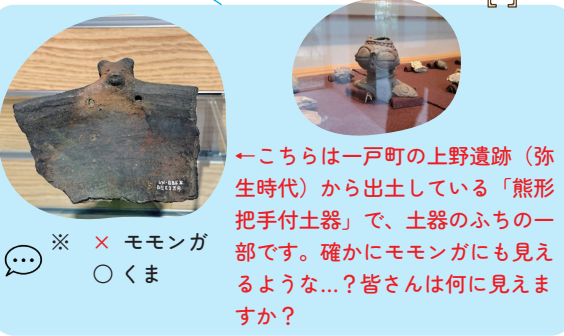
自分は「ハナ曲がり人」と呼んでいます。統治者か祈祷師か頭痛持ちの哲学者なのか、今後の研究が待たれます。シャッターを押すときに偶然の光が入ってきました。



ボンキュッボン



縄文時代の石斧で木を伐ってみた。



※ × モモンガ  
○ くま

←こちらは一戸町の上野遺跡(弥生時代)から出土している「熊形把手付土器」で、土器のふちの一部です。確かにモモンガにも見えるような...? 皆さんは何に見えますか?



博物館はプロジェクションマッピングや心地よい音楽でめちゃくちゃ癒されます～♪ずっとここで暮らしたい!



御所野遺跡からは、弓矢の先に付けて狩りに使っていた「矢じり」が多く見つかっています。御所野の縄文人は「珪化木(けいかぼく)」という木の化石を矢じりの材料として多く使っていました。



全国でそっくりな土器が出ているのに、同じ遺跡の中で全く同じ土器が出てこない。これ縄文時代の不思議。



このお目々のような穴はなに?  
土器のひび割れの両側に小さな穴があることがあります。この穴は「補修孔(ほしゅうこう)」と呼ばれ、穴に紐を通して土器を修理したと考えられています!



展示室からの景色は季節によって全く違って見えます。季節の変化を楽しんでみてください!



↑こんなイメージです

【編集後記】今回は博物館の投稿画像が多く、急遽博物館編を作成しました。なかには疑問に思ったところを投稿してくださる方もいらっしゃり、マップを通してお答えしています。郷土資料コーナーや廊下展示にも様々な出土品を展示しています。このマップを機に、ぜひそちらもじっくり見ていただくと嬉しいです。今回もたくさんの投稿ありがとうございました!